

半導体漫遊記

湯之上隆

(25)

ぜなら、これまで電機業界内の合併で、うまは3位に急上昇した。初期のエルピーダをくいつたためではないからだ。

2000年に誕生した。09年には8位に落ちた。09年には8位に落ちた。09年には8位に落ちた。09年には8位に落ちた。

では、なぜ日本電機産業では、性懲りもな

東芝、日立、ソニーの三社が、官民ファンの大塚周二氏が就任する予定だ。大塚氏は2000億円の投資を

得て、中小型液晶パネルの新社「ジャパンディスプレイ」を2012年4月に設立する。社長には、元エルピーダ最高執行責任者の大塚周二氏が就任する予定だ。大塚氏は2000億円の投資を

たエルピーダは、NECと日立の二社合計で16%あったDRAMシェアを、毎年半減させ

ていった(図1)。02年にはランキングを落とす

たエルピーダは、NECと日立の二社合計で16%あったDRAMシェアを、毎年半減させ

「そうやってほしい」と願う一方、一方で、「また合併会社をつく

るのか、失敗するだろう」とウザリしているのも事実である。な

る意識などが絡み合っ

き出し、それに学ぶこ

とができていない。そ

もそも、失敗の分析が

できないのは、電機業

界には「失敗した」と

いう認識すらないから

さしい経済学」に、三橋平慶大教授が連載していた「組織学習理論への招待」に次のよう

な説明がある。「意思決定の際、あらゆる状況を把握し、すべての選択肢を精査している

のではない。手近で思

いつきやすく親しみの

ある選択肢、つまり、

前と同じ選択肢に頼

る」。電機業界が「合

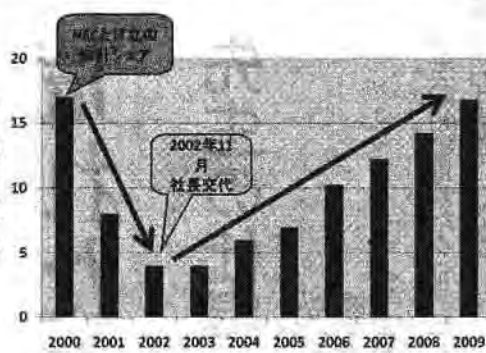


図1 エルピーダのDRAM世界シェアの推移
出所: iSuppliのデータなどを基に筆者作成

電機合併失敗に学べ

来春設立の新会社に生かせ

た合併会社をつく

るのか、失敗するだろう」とウザリしているのも事実である。な

る意識などが絡み合っ

き出し、それに学ぶこ

とができていない。そ

もそも、失敗の分析が

できないのは、電機業

界には「失敗した」と

いう認識すらないから

「1+1=3」を目指

かもしれない。

第二に、電機業界の

組織の慣性が影響して

いる。日経新聞の「や

る」。電機業界が「合

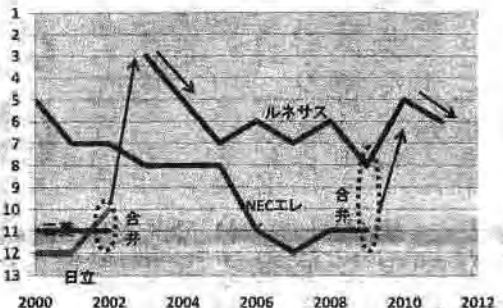


図2 ルネサスエレクトロニクスの世界半導体売上高ランキングの推移
出所: iSuppliのデータなどを基に筆者作成

併」という選択肢を取る背景には、このような原因があると思われる。失敗を認めず、その分析を行わず、同じ手法を繰